

よしなが

行動目標：自分から「よ・し・な・が」

備前市立吉永中学校学校通信 No.11
学年末ですよ！ 号
令和8年3月2日発行
発行人 田代 雄一

春一番

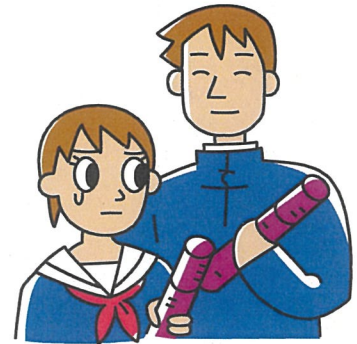
「春一番」とは、冬から春への移行時期（立春～春分）に、その年初めて吹く暖かく強い南風のことです。今年は三連休中の2月22日（日）に吹きました。前は2021年だったとのことで、実に5年ぶりとなるそうです。（气象台による）そういえば、三連休中は春というか、「初夏」を思わせるような陽気でしたね。しかしながらこの「春一番」は春の訪れを告げる一方で、急速な低気圧の発達により、突風や急な雷雨などを伴うことがあり、災害につながることもあるようです。吉永中学校の周りでは、近所の梅が咲き、花壇ではチューリップの芽が大きくなり春の訪れを感じるようになりました。いよいよ3年生は卒業の時を迎えます。最後まで油断せず自分から「よしなが」を意識して生活しましょう。



令和7年度吉永中学校卒業証書授与式

1 期 日	令和8年3月13日（金）
2 日 程	保護者受付 9:30～9:50
	卒業証書授与式 10:00～11:10
	3年生学級活動 11:30～12:20

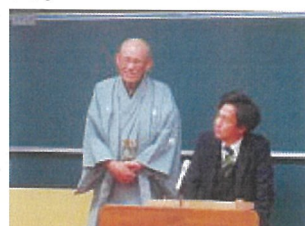
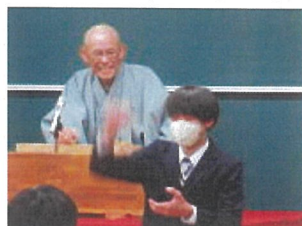
※1・2年生は式後片付けをして下校 スクールバス 11:50



「落語の国へ御笑待」

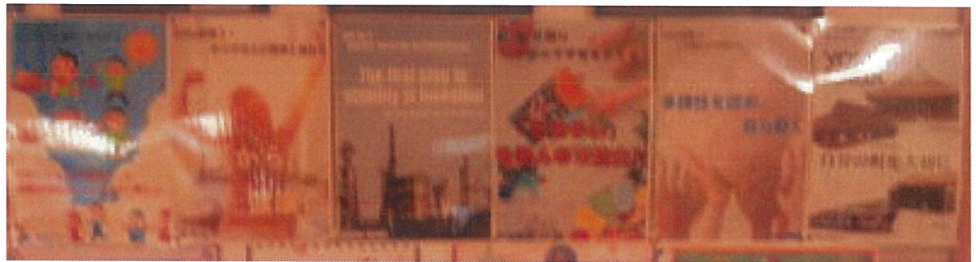
2月9日（月）5時間目に「ふじの舎扇蝶」さんにお越しいただき、落語について実演を交えながらお話をさせていただきました。ふじの舎扇蝶さんは普段は「小学校の先生」という顔もっています。落語が生まれた経緯や、東京で根付いた「江戸落語」京都や大阪に根付いた「上方落語」など落語の種類についても教えていただきました。落語の特徴は1人で複数の人を演じる、道具は扇子と手ぬぐいだけを使って演じる、ないものがあるようにする仕草が大切など、非常に興味深い話が一杯でした。私は、扇蝶さんの話を聞きながら感じたのは、声の強弱、間の取り方が絶妙で、聴いている人をその世界に引き込んでいくと感じました。聴いている生徒がみんな笑顔であったことがとても印象的でした。

ふじの舎扇蝶先生、ありがとうございました。



立志証×SDG s

1年生は、「立志証」を基にして、自分の才能・役割・夢、目標を振り返り自己分析することで、SDG sの活動が自らの夢を叶える手段の一つであることに気づくことを目的として授業を行いました。そして、その内容をポスターにして発表しています。自分の夢が社会に貢献できるってとても素敵なことですね。



みらいの描き方講座

2月13日（金）おおぞら高校岡山キャンパスの先生方をお迎えして、「みらいの描き方講座～ジブンを知る・深める」と題して出前授業を行っていただきました。「みらいノート」を使いながら、「自分の好きなこと」そこから連想することを書き出しながら、自分自身を客観的に見つめたり、ジブンのみらいを形にしていく活動を行いました。

グループで自分の考えたことを発表したり、メンバーの話を聞いたりするようすは身を乗り出して話を聞く場面が多く見られ、とてもいい話し合いができていたようです。この授業をきっかけにして、自分の好きなことを形にしていけるようになるといいですね。 おおぞら高校の先生方、大変ありがとうございました！



伝統×私たち

3年生の国語の授業では、「本歌取り」を行いました。これは、有名で優れた古歌（本歌）の言葉や趣向を一部借りて、新しい和歌を詠む古典的な手法です。決して盗作ではありません。新古今和歌集の時代に盛んとなったようです。今回は、CANVAを使い、今風に背景も考えながら作りました、名作がたくさん生まれました。これら作品は生徒玄関に展示しています。（以下に一部を紹介）

